

ニットキャップシアター 第47回公演

『土曜日の過ごしかた』

脚本：ごまのはえ / 演出：橋本匡市（万博設計）



こんなご時世だから、みんな書くんです。

[京都公演] 2026年2月20日(金)～22日(日) @ロームシアター京都 ノースホール

[東京公演] 2026年2月27日(金)～3月1日(日) @座・高円寺1

お問合せ | ニットキャップシアター / 一般社団法人毛帽子事務所

・E-mail contact@knitcap.jp ・Tel 090-7118-3396 ・公演サイト <https://knitcap.jp/doyoubi/>

◎アーティストコメント

ごまのはえ【脚本】

『土曜日の過ごしかた』は新聞「土曜日」について描いたお芝居です。新聞「土曜日」は昭和 11 年～12 年にかけて京都の喫茶店を中心に置かれていたミニ新聞。発行人は齋藤雷太郎。彼は松竹下加茂撮影所に所属する大部屋俳優でした。大陸での戦争が激しくなるなか、新聞「土曜日」は、映画、ファッション、政治、海外情報など様々な話題を京都の人々に提供し続け、沢山の人に読まれました。しかし昭和 12 年 11 月、警察の力により新聞「土曜日」は潰されてしまいます。

私たちの『土曜日の過ごしかた』は、発行人齋藤雷太郎を中心に、昭和初期当時の京都の人々が登場します。日本がやがて巨大な戦争に突入していくとする時代、人々はどう変わったか、もしくは変わらなかつたか。そんな時代を、齋藤雷太郎と新聞「土曜日」はどう過ごそうとしたかを描きます。

地域の記憶をもとに創作を続けるニットキップシアターが、いよいよ本拠地京都を題材に創作します。演出には、長年京都の自慢話を一番近くで聞かされている大阪から橋本匡市氏を迎え、京都が苦手な人にも愛される作品を目指します。

暗い時代、あなたはどう過ごしますか？



【プロフィール】大阪府枚方市出身。ニットキップシアター代表。京都を創作の拠点に大阪、東京、福岡、名古屋などの各都市で公演を続けている。『愛のテール』で OMS 戯曲賞大賞、『ヒラカタ・ノート』で OMS 戯曲賞特別賞及び新・KYOTO 演劇大賞、『チエーホフも鳥の名前』で北海道戯曲賞大賞を受賞。一般社団法人毛帽子事務所 代表理事。

橋本匡市（はしもと ただし）【演出】

「時代の流れ」なんていうものは、個々人がそれぞれ自由に生きて、自然と流れていくものだと思っている。でも、そんな個々人の自由など吹かれて飛び荒れ狂い同じ場所に向かって強く吹き合う。そんな時代の流れもまた、幾度となく繰り返ってきたのが人類の歴史である。

『土曜日の過ごしかた』は、今から 90 年前の京都の喫茶店を舞台に、市井の人々の息遣いがこれでもかと感じられる物語だ。その息遣いを座組の皆様と丁寧に紡ぎたいと切実に願う。そんな切実な願いも吹けば飛ぶ時代がやってくるかもしれない。この物語は、過去であり、今であり、未来でもある。先が読めない時代だからこそ、過去を今に立ち上げ、未来へ流れる時間の波間に、光を灯したい。



【プロフィール】1982 年兵庫県生まれ。演出家／劇作家／万博設計代表／ウイングフィールド企画主任。2012 年に演劇ユニット「万博設計」を結成。新作、既成作品を問わず、言葉、身体、空間を起点とする舞台演出と、「普通」と「異常」の距離の中で揺れる人間を描く演出手法を得意とする。令和元年度文化庁芸術祭優秀賞、令和 2 年度大阪文化祭賞奨励賞、若手演出家コンクール 2019 優秀賞受賞。

◎ 『土曜日の過ごしかた』作品紹介

——新聞「土曜日」をめぐり、昭和初期の京都を描く。

本作の舞台は戦前の京都の喫茶店です。

当時、京都近辺の喫茶店には『土曜日』という新聞が置かれていました。

発行者は松竹の大部屋俳優であった齋藤雷太郎。
さいとうらいたろう

彼は大陸での戦争が激化する時代に、庶民感覚とユーモアを交え、
政府に堂々と物申す内容を発信していました。

齋藤雷太郎の活動を中心に、1930年代の時代背景の中で、個々人がどのように繋がり、生活を営んでいたかを描きます。



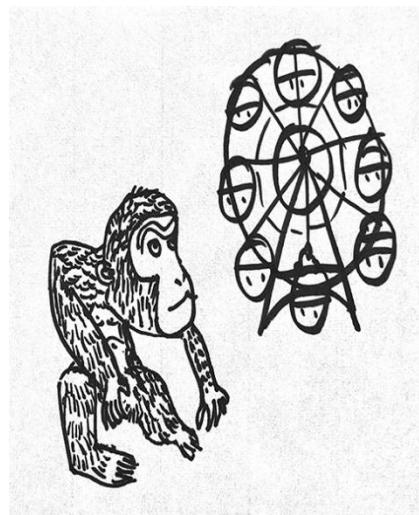
◎ 「京都物語プロジェクト」について

一般社団法人毛帽子事務所では、表現者と地域のつながりを通じて
地域文化を掘り起こす演劇プロジェクトである「京都物語プロジェクト」を、2023年度から継続的に取り組んでいます。

1~2年目はごまのはえを中心としたメンバーが、京都に住む人々にお会いして、暮らしに関する話や昔の写真などを収集するリサーチをおこないました。またお預かりした写真を題材にして、公募による参加者が短編戯曲を創作する「戯曲講座」を開催してきました。

3年目となる本年は、集大成となる新作公演『土曜日の過ごしかた』を上演します。さらに関連企画として、1~2年目にできあがった短編戯曲を使ったリーディング・ワークショップ企画や、トーク企画もおこないます。

どうぞお楽しみに！



絵：竹内まりの

◎公演情報

ニットキップシアター 第47回公演 『土曜日の過ごしかた』

脚本 | ごまのはえ

演出 | 橋本匡市（万博設計）

出演 | 門脇俊輔 澤村喜一郎 仲谷萌 西村貴治 山谷一也 高田晴菜

越賀はなこ 山崎茉由 高橋敏文 小野毅 ごまのはえ（以上、ニットキップシアター）

千田訓子（万博設計） 尾澤ショータロー

舞台監督 | 今井康平（campana） 舞台美術 | 竹腰かなこ 照明 | 葛西健一 音響 | 三橋琢

音響操作 | 森永恭代〔東京公演〕 衣装 | イトウワカナ（intro）、はたもとようこ（桃園会） 小道具 | 仲谷萌

演出助手 | 小山裕暉 演出補佐 | 槙なおこ（万博設計） ドラマトゥルク | 山田レイ、高田晴菜、植村純子

絵 | 竹内まりの 宣伝美術 | 山口良太（slowcamp） 制作 | 門脇俊輔、澤村喜一郎、高田晴菜、山崎茉由、植村純子

【京都公演】

会場 | ロームシアター京都 ノースホール

日時 | 2026年2月20日（金）～22日（日）

2月20日（金）14:00 / 19:00

2月21日（土）13:00 / 18:00

2月22日（日）14:00 ★託児サービスあり

受付開始は開演の45分前。開場は開演の30分前。

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto



ロームシアター京都
10周年連携事業

※託児サービスの詳細・お申込みはロームシアター京都WEBページをご確認ください。

※車椅子席をご希望の方はニットキップシアターまでご連絡ください。

【東京公演】

会場 | 座・高円寺1

日時 | 2026年2月27日（金）～3月1日（日）

2月27日（金）19:00

2月28日（土）14:00 ★託児サービスあり

3月1日（日）14:00

受付開始は開演の45分前。開場は開演の30分前。

座 高円寺
ZA-KOENJI PUBLIC THEATRE

冬の劇場 31
日本劇作家協会プログラム



以下のサービスは劇場で承ります。お申込・お問い合わせは座・高円寺チケットボックス TEL: 03-3223-7300まで。

※車椅子スペースをご利用の方は、前日までにお申し込みください（定員あり）。

※障がい者手帳をお持ちの方は、座・高円寺チケットボックスでご予約いただくと1割引きになります。

※託児サービス（定員あり・対象年齢1歳～未就学児・1週間前までに要予約）料金：1,000円。

チケット料金 |

[一般] 4,500 円 [ユース・学生] 2,500 円

[高校生以下] 1,000 円 [ペア] 8,000 円 (2名分)

[京都割] 4,000 円 (京都公演のみ／劇団・チケットぴあで取扱)

※前売・当日共通料金 ※全席自由 ※ユースは 25 歳以下が対象

※京都割は京都市在住、または通勤先・通学先・活動拠点のいずれかが京都市にある方が対象

※ユース・学生、高校生以下、京都割の各券種は、当日受付で要証明書提示

※未就学児童の入場はご遠慮ください (一部ステージでは託児サービスあり)

チケット取扱 |

ニットキヤップシアター <https://knitcap.jp/doyoubi/#ticket>

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (P コード : 538-901)

[京都公演]

ロームシアター京都

○オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> (24 時間購入可 ※要事前登録 (無料))

○チケットカウンター TEL: 075-746-3201 (窓口・電話とも 10:00~17:00 / 12月 30 日～1月 2 日は臨時休館 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

京都コンサートホール

○チケットカウンター TEL: 075-711-3231 (窓口・電話とも 10:00~17:00 / 休館日 : 第 1・3 月曜日 (休日の場合は翌日、年末年始))

[東京公演]

座・高円寺チケットボックス (月曜定休)

○TEL 03-3223-7300 (10:00~18:00) ○窓口 10:00~19:00

○WEB <https://za-koenji.jp/> (無休 24H 受付)

※座・高円寺の劇場回数券「なみちけ」もご利用いただけます

企画・製作・主催 | 一般社団法人毛帽子事務所、ニットキヤップシアター

共催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) [京都公演] 後援 | 京都市 [京都公演]

提携 | NPO 法人劇場創造ネットワーク / 座・高円寺 [東京公演]

協力 | 万博設計、合同会社いいた、齋藤嘉夫、齋藤暢子、井上史

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動)) ・独立行政法人日本芸術文化振興会
京都芸術センター制作支援事業

◎関連企画

俳優ワークショップ＆リーディング発表会

京都物語プロジェクトの1～2年目で執筆された短編戯曲を元に、参加者とニットキャップシアターの俳優と一緒に声で表現するワークショップです。(参加者募集はすでに終了しています)

[日時] 2025年12月8日(月) / 9日(火)、13日(土)、14日(日)

[会場] ロームシアター京都 ノースホール

[参加費] 無料

[講師] ごまのはえ(ニットキャップシアター代表、劇作家／演出家)

ニットキャップシアター 俳優陣

リーディング発表会

[日時] 2025年12月14日(日) 15:30 開演

[会場] ロームシアター京都 ノースホール

[入場料] 無料(どなたさまもご観劇いただけます。予約優先)

[予約先] 劇団WEBサイトのWEBフォーム <https://forms.gle/AgUsVkmHUksGYeL8>

プレイ!シアター for the 10th anniversary オープンデイ〈つむぎのステージ〉

朗読&トーク「新聞『土曜日』を読む・みる・語る」

[日時] 2026年1月11日(日) 13:15～14:45

[会場] ロームシアター京都 パークプラザ 3F 共通ロビー

[料金] 無料 ※予約不要

[出演] 〈朗読〉ニットキャップシアター劇団員

〈トーク〉井上史(編集・ライター)、山下賢二(木木木座座長)、ごまのはえ

その他にも色々な関連企画を準備中です。

詳しくは公演特設サイトにて！

▶ <https://knitcap.jp/doyoubi/#kikaku>

◎劇団プロフィール

ニットキャップシアター



(撮影：脇田友)

京都を拠点に活動する劇団。1999年設立。

劇作家「ごまのはえ」が書く脚本を、楽器や仮面などを使ってイマジネーション豊かに表現する独自の舞台作品を追求している。また、地域の伝承や街の記憶をもとにした作品を多数創作している。

『ヒラカタ・ノート』で新・KYOTO 演劇大賞（2005年）、『チエーホフも鳥の名前』で第1回関西えんげき大賞 優秀作品賞（2023年）、『よりそう人』で第2回関西えんげき大賞 優秀作品賞（2024年）を受賞。

劇団 Web サイト▶ <https://knitcap.jp>

『土曜日の過ごしかた』公演特設 Web サイト▶ <https://knitcap.jp/doyoubi/>